

一般社団法人日本機械学会 「スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門」設立

2015年3月6日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

一般社団法人日本機械学会は、地域の活性化活動を中心に行う8支部と、機械に関連する広い学術の専門分野をカバーする21部門が、縦糸・横糸となって活動をしておりますが、本年4月に22番目の部門として“スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス・感性工学”をキーワードにした「スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門」を設立いたします。

科学技術が高度に発達し複雑な現代社会に住む我々にとって、スポーツは今や健康で豊かな生活を送る上で欠かすことのできないものとなっております。今後益々重要になってくると考えられます。現代のスポーツは、用具・設備・施設などのハードウェアを抜きにしては考えられないほどに、その依存度が高くなっています。このハードウェアの高性能化や安全性・快適性向上には機械工学の関与が欠かせません。さらに人間の動作を機械的に考え、最適動作の創出、提案も行い、またその動作を補助するスポーツ用具を作り出す分野がスポーツ工学です。同時に、人間のダイナミクスは安全で豊かな社会を構築する上で、人間工学やバイオメカニクスではカバーしきれない視点を取り込むことが可能となります。当該分野のヒューマンダイナミクスはスポーツを中心としつつも、より広く人間の余暇活動を充実させることに貢献できる新しい分野です。

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクスは、材料力学、振動学、流体力学、計算力学などの機械工学における従来の学問領域から人間工学、バイオメカニクス、医学、感性工学などを融合して、我々の余暇生活とその環境をダイナミクスの視点から捉えて研究する機械工学の新しい分野を確立することを目指しています。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。国威発揚にもつながる多くのメダル獲得のため、スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門の貢献はますます期待され、今後、機械工学が主体的に寄与すべき重要な課題を解決する機会が広がっていくことでしょう。

本部門は機械学会における基幹分野から複合新領域分野まで極めて広い分野をカバーしており、潜在的な会員は極めて多いと考えられます。これら異なる専門分野を持つ多くの部門の間を有機的に連携させることによって、体育の分野であるスポーツを機械工学分野のひとつとして捉え、新しい価値や産業の創出に繋がる活動を目指します。部門としても産業界のニーズにも応えるべく、スピード感を持った運営を進めていきたいと考えています。

【各部門の活動は本会 Web サイトをご覧ください】

<http://www.jsme.or.jp/japanese/contents/05/01.html>

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 会員・情報管理グループ 井上
電話 (03) 5360-3503/FAX (03) 5360-3508
E-mail: inoue@jsme.or.jp